

令和8年度 第2回 「ケアマネサロン」を開催しました

7月3日(金) 愛生居宅介護支援事業所の 今枝敬典氏 を講師にお招きし「認知症世界の歩き方～実践ワークショップ～」の研修を実施しました。当日は18名のケアマネジャーの方々にご参加いただきました。

「認知症世界の歩き方」をテーマに研修を実施し、認知症のある方の視点に立った理解や支援方法について学びました。

研修では、認知症を「何もできなくなる状態」と捉えるのではなく、認知機能のどの部分に困りごとが生じているのかを理解し、その人の思いや背景に寄り添うことの大切さを学びました。また、不安や怒りなどの行動・心理症状(BPSD)も、本人なりの理由や不安から生じるものであり、環境や関わり方を工夫することが重要であると再確認しました。

事例をもとに、トイレの場所が分かりにくい、時間の感覚がつかみにくいといった認知機能の変化について考え、見やすい表示や分かりやすい動線づくり、アラームや写真の活用など、本人の生活を支える具体的な工夫を学びました。

また、認知症の方にやさしい環境づくりのポイントとして、「五感にやさしいこと」「混乱させないこと」「必要な情報が分かりやすく伝わること」などの考え方も学び、住まいや地域の環境を整えることの重要性について理解を深めました。

今回の研修を通して、認知症のある方を変えようとするのではなく、環境や支援方法を工夫することで、その人らしい生活を支えることの大切さを改めて学びました。今後も研修で得た学びを、ケアプランに活かし、安心して地域で暮らし続けられる支援に取り組んでまいります。

